第26回 埼玉県作業療法学会

テーマ 社会とのつながりを再考する

これからの作業療法はもっと社会とつながった本来的な姿になる必要がある。対象者が社会レベルで生きることを支援できるために、対象者の社会とのつながりの回復にもっと正面から取り組もう。この「社会とのつながり」について再考しよう。

日時

平成29年 6/25日

10：00～17：00

会場

目白大学 岩槻キャンパス

主催

一般社団法人 埼玉県作業療法士会

学会長

會田 玉美（目白大学）

共催

目白大学

参加費

会員：1,500円 非会員：3,000円 学生・学生会員・一般市民：無料

日本作業療法士協会の会員は当学会参加により生涯教育ポイントを２ポイント、発表により２ポイント（計４ポイント）を付与いたします。

学会ホームページ
http://hp.ot-saitama.or.jp
埼玉県作業療法士会

注意事項

- 昼食は軽食をご用意しますが、参加人数によっては不足することもございます。ご了承ください。
- 会場から徒歩８分のところにコンビニがございますが、事前にご用意されることをお勧めいたします。
- お車での来校も可能です。事故等は大会事務局で一切の責を負いかねますので、十分注意してください。

会場 目白大学 岩槻キャンパス

国際興業バス
「目白大学」バス停
注「目白大学入口」ではありません

東武野田線（東武アーバンパークライン）
岩槻駅 東口
乗り場番号※ 3
岩101 目白大学・浦和美園駅ゆき（快速）
岩11-3 目白大学経由「東川口駅」ゆき
注「釣上経由」便は停車いたしません
所要時間：約12分

埼玉高速鉄道
浦和美園駅
乗り場番号※ 1
岩101 目白大学・岩槻駅ゆき（快速）
岩11-3 目白大学経由「岩槻駅」ゆき
所要時間：約15分

JR 武蔵野線・埼玉高速鉄道
東川口駅 北口
乗り場番号※ 1
岩11-2 目白大学経由「岩槻駅」ゆき
岩11-3 イオン浦和美園SC 目白大学経由「岩槻駅」ゆき
注「釣上経由」便は停車いたしません
所要時間：約23分

※ 現地バス停には、乗り場番号が振られていない場合があります

お問い合わせ
第 26 回埼玉県作業療法学会事務局
E-mail：saitamaOT26th@gmail.com
048-797-2131（代）

学会ホームページ
http://hp.ot-saitama.or.jp
埼玉県作業療法士会

学会長の言葉

学会長
會田　玉美

地域にはさまざまな生きづらさを抱えた人がいます。障害、高齢者、貧困、一人親家庭、外国人、孤立や閉じこもり…生きづらさは多様化しています。これらの方々も含めた国民すべてが、教育や職業、趣味や集団活動など、地域の一員として共に生きられる社会が求められています。私たち作業療法士には年齢や障害の垣根を超えた支援をすることが求められています。その中で「つながり」、「居場所」、「役割」などは最も重要なカテゴリーと考えられます。本学会ではそのなかの「つながり」をテーマに皆様と有意義な時間を過ごしたいと考えています。皆様の参会を心からお待ち申し上げます。

Program

10時00分～　**開会**

10時05分～

学会長講演
「高次脳機能障害者の社会参加を促進するために」

学会長：會田 玉美（目白大学）

高次脳機能障害を持った方は医療機関には多くいらっしゃいます。しかし、就労支援サービスにつながる方はほんの一握りです。一人でも多くの高次脳機能障害の方が社会参加をあきらめないために、病院の作業療法士の果たす役割は大きいと考えています。病院で行う神経心理学的評価ではなく、生活や就労といった社会とのつながりを中心にお話しいたします。

11時10分～12時00分　**平成29年度埼玉県作業療法士会　総会**

12時10分～13時00分

学生プレゼンテーション（ランチョン）

作業療法士を目指す学生への応援となり、学生同士の交流の促進につながり、県士会員と養成校とのつながりを強めるために、卒業研究や授業内での取り組み、ゼミ活動などのポスター発表を行います。優れた発表は表彰いたします。また、軽食をご用意いたします。

13時10分～14時10分　**一般演題（口述）**

14時20分～15時20分

ワークショップ

身体障害分野

「newspider：脳血管障害後の手の機能回復に強力な助っ人になるMusashiの製作に挑戦！」

講師：矢﨑 潔（目白大学）

回復期の脳血管障害者の多くは、手指の粗大屈曲の回復はするが、手指の伸展運動はなかなか回復が進みません。そこで、伸展運動をnew　spider（Musashi）で補助し早期から把持訓練を可能にして意欲の向上も引き出すことも可能です。そんなスプリントを作りませんか。

精神障害分野

「効果のあがる就労支援の始め方」

講師：香田真希子（目白大学）

精神に病を持つ人の約70%の方が、一般就労したいと望んでいらっしゃると言われているほど、就労支援はニーズの高い支援です。就労支援をしたいけど、具体的にどのように支援をしたら良いかわからないでいる方、是非このワークショップを利用して、効果のあがる就労支援の方法を身につけてみませんか？お待ちしております。

地域分野

「ADL/IADL支援のための作業遂行分析」

講師：金野 達也（目白大学/AMPS講師）

作業療法士は、ADL・IADLを支援する際に、どのような行為が難しいのかを分析することが求められています。本ワークショップでは、作業遂行分析の手順や分析方法を一緒に学びあえることを目的としています。

15時30分～16時50分

シンポジウム
「対象者の新たなニーズをどう発掘するか」

「対象者のニーズを引き出す」ことは作業療法のメインテーマであり続けてきました。本来、作業療法士は人の様々な作業の実現に関わるため、発想豊かに可能性を追い求めます。しかし、多くの作業療法士は、医療機関や障がい者・高齢者の施設で勤務し、対象者のニーズを限定し画一的なタイプとしか考えられなくなっていないでしょうか。本シンポジウムは、既存の枠に囚われずに対象者の新たなニーズを発掘することへ独自の方法でアプローチしている澤田・峯尾両氏に登壇をお願いし茂木氏に2人の聞き役をお願いしました。

演者：澤田 恭一
（就労支援センターFlat）

演者：峯尾 舞
（北原国際病院）

座長：茂木 有希子
（リハビリ＆デイサービス ダイアリー）

17時00分　**閉会**